

Weekly コラム

平成 28 年 8 月 16 日

〒541-0055 大阪府中央区船場中央 2-1

船場センタービル 4 号館 4 階

船場経済倶楽部

Tel 06-6261-8000

(NPO 法人 SKC 企業振興連盟協議会) Fax 06-6261-6539

人の輪・衆智・繁栄

活動方針



当団体は、異なる業種の経営者が相集い、力を合わせ、自らの研鑽と親睦を通じて、斬新な経営感覚と新たな販売促進を創造して、メンバー同士でより健全な事業所とその事業所のイメージアップを図り、地域社会に貢献できる事業所となることを目的とする。

ビニール傘に込められた想い

今年の梅雨もビニール傘に助けられる機会は多かったのではないのでしょうか。年間 1 億 3 千本もの傘が消費される日本にあってその内の半分をビニール傘が占めています。

ビニール傘は 1721 年創業の「ホワイトローズ株式会社」によって開発されます。戦後間もない頃、当時主流だった綿傘の弱点である雨漏りや色落ちをカバーするため、ビニール製の傘カバーを開発しました。販売価格は 1,200～1,800 円と当時の物価からするとかなりの高級品にもかかわらず、朝から店頭に行列ができるほどの売れ行きでした。その後、ナイロンやポリエステル素材の普及により綿傘が減るとそれに伴い傘カバーの需要も下降しますが、ビニールが傘に最も適した素材であるという考えの下、今度はビニールを生地素材に採用した傘の開発に乗り出します。しかし販売当初は布傘が主流のため店舗や問屋に取り扱ってもらうことが叶わず苦戦を強いられます。

転機となったのは昭和 40 年代。ファッション小物として若い女性に注目され、現在の社名ともなるミニビニール傘「ホワイトローズ」は月 4,000 本もの売り上げを誇る大ヒット商品となります。

80 年代から中国や台湾製の安価なビニール傘が台頭します。より多くの人々がビニール傘を手取るようになり「日本中をビニール傘で埋め尽くす」という開発当初の夢は現実のもの

となったものの、皮肉なことにパイオニアのホワイトローズの高価なビニール傘は市場シェアを失ってしまいました。それでも他社の価格帯とは一線を画す高級ビニール傘の製造を続け、その高い技術力が今では宮内庁の目に留まります。雨の日の公務のときも、遠くからもお顔が見えるようにと美智子皇后陛下のためのビニール傘の製造が依頼されます。そして、これまでの全技術を結集したビニール傘「縁結(えんゆう)」を納め、現在も陛下に愛用されています。

ビニール傘は英国王室にも愛用され、海外ブランドからの販売も相次いでおり、ニーズの広がりを感じる昨今。安価だからではなく、ビニールこそが傘に最も適した素材だから。視界の悪い日にこそ、視界の開けた傘を。そんなコンセプトの下に製造され、人々の安全を守り、そして今は雨の日に皇后陛下の晴れの笑顔をも守るビニール傘。開発当初からビニール傘に込められた想いが再び日の目を浴びています。



記事の内容に関するお問い合わせは事務局までご連絡ください。

ウィークリーはメールでの配信も行っております。お手数ですが、「メール希望」・「配信停止希望」と件名にご入力の上、

skc-soudan@skc.ne.jp まで空メールをご送信ください。また、FAX ご不要の際は、その旨をお電話にてお申しつけください。